

ふれんど通信 第26号

発行 平成28年11月7日 児童養護施設ふれんど
〒348-0047 羽生市大字下新郷 666 TEL048-560-5866

10周年を迎えて

理事長 櫻井 澄子

今年、ふれんどは創立10周年を迎えました。ふと立ち止まり、過ぎた10年の月日の流れを省みたとき、どれだけたくさんの方々を支えられ、数えきれないほどの愛をいただいて今に来た、そのことに気づかされ、感謝で胸がいっぱいです。

ここに無事10周年を迎えられたこと、改めて心から厚くお礼を申し上げます。

どんな子どもにも共通して、安心して過ごせる場所を与えたいという思いから施設を立ち上げました。ふれんどの理念は、「(1) 児童福祉法に則り、乳児を除いて保護者のいない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し合わせてその自立を適切に支援する。(2) 児童福祉法の理念や児童憲章・児童の権利宣言の精神及び児童の権利に関する条約を最大限に守り、かつ尊重した処遇を展開する。」というものです。この理念の実現のために尽力してきたつもりです。

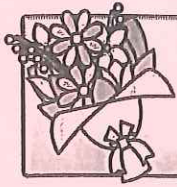
10年という年月の間に、子どもを取り巻く環境も、子どもたち自身の性質も少しずつ変わっていったように思います。私自身、3人の子どもを育て上げ、しばらく月日がたちました。自分が子育てをしていたときと今の子どもたちとがどのくらい違うか、確認する意味も含めて、私は、ふれんどの子どもたちを時々食事などに連れ出しています。すると、子どもの思わぬ本音が聞けることもあります。子どもたちは育ってきた環境や年齢的なものから、複雑な思いを心の奥底に抱えているものです。その思いに触れたとき、受け止める側の大人はどうあるべきでしょうか。私は、ふれんどの職員には「平衡感覚」を持ってほしいと言っています。子どもの前では本音と建て前を使い分け、ときには役者になって演じることも大切です。常に大人としてどうあるべきか、冷静に考えて子どもに接してほしいと考えています。子どもに寄り添い、「心」を与えるためには、積極的に子どもの中に入って行くこと。日々の忙しさの中でもなるべく1対1で話をする機会を設けること。そうして、「自分を大切にしてくれる大人がいる」ということを子どもたちに感じとらせてほしいと思います。

より家庭的な環境をめざして、ふれんどは少数数の子どもを3人の職員が担当することにしていきます。子どもたちが安心して過ごせるよう、担当職員は養育方針を日々話し合い、同じ方向を向く必要があります。話し合いの中で迷ったときは、子どもの為になる方を選択するよう職員には伝えています。子どもの為とは、「将来も見据えたうえで、その子どもにとって最善・最良である」ということです。原点に戻り、「平衡感覚」を持ちながら子どもに接してほしいと思っています。私は、子どもだけでなく、職員も自己研鑽を重ね、心の財産を蓄えてほしいと考えています。

ふれんどは今、基礎の段階を終えました。基礎とはまず、安心して過ごせる場所や十分な食事を与え、信頼できる大人と過ごすことで「心」を育てることです。子どもたちはやがて社会に出ていきます。だからこそ、社会性や生活習慣を身に付け、立派に自立して行ってほしいと考えています。一度身につけた教育は人から奪われることはありません。子どもたちには教育という財産をしっかり身につけてほしいと願います。

最後に、限りない未来のある子どもたちのために、命ある限りエールを送り続けたいと思います。





—勤続10年の職員より—

ふれんどに創立以来勤めている3人の職員に、これまでの思いを聞きました。

平成18年7月に入社し2ヶ月間は、まだ完成されていない施設を見ながらこれから子どもたちを迎える事や、これから子どもたちとの生活が始まる事を心待ちにしていた気持ちを今でも覚えています。あれから10年、変わらずに続いているもの、変化していったもの、嬉しい事、悲しい事があつたり…と、子どもたちと共に小さな歴史を刻んでいます。

先日、ささやかながら10周年記念式典を開催しました。実行委員として、これまでに退所した児童へ連絡を取らせてもらい、元気な姿を見せてくれた子もいれば、連絡がつかない子もいたり…と感慨深い体験をしました。すっかり大人となった方もいるのに「子ども」とは失礼かも知れませんが、それでも私たちはいつまでも気にかけてしまいます。そして、これからも子どもたちにとっての、帰って来られる場所を守り続けられたらと思います。

田中 智也

まだふれんどが出来上がる前。これから起こることに気持ちをわくわくさせ、出会う子どもたちを楽しみに待ちながら入社してきたフレッシュな自分が今でも私の原点です。10年が経ち、年齢も重ね、フレッシュな気持ちばかりでいられる訳ではなくなってきたのが現実ですが…。この10年で一番感じることは、この仕事は子どもの将来を大きく変えてしまうことが時にはあるということ。見送った子どもの中には今でも連絡をしてくる子どももいれば、全く音沙汰のない子どももいる。その中でも、子どもから「あの時こうして欲しかった。」と言われた時が10年の中でも最も衝撃な一言でした。子どもは私が決めたことで長く苦しんでいた時期があり、私はそれを知らずに過ごしていたということで、これには自分の力の無さを思い知らされます。ただこの話ができるほど、この子が前を見ているということなので、私はこの子をこの先も応援したいと思っています。

10年ひたすら走り抜けてきましたが、この10年で積み上げてきたふれんどの環境はこの10年があったからこそだと思っています。各棟、子どもたちの問題は多少はあるものの、新任職員がつぶれてしまうほどの大きな問題もなく、どちらかという平和に1日が終わる。これも職員が変わっていく中、各棟が積み上げてきた環境が今もつながっているからでは。この先も、このつながりを大事にし、積み上げてきた環境を守りながら、新しい風を取り入れていきたいと思っています。

まだ10年。原点に帰りながら、私ももうしばらくこのふれんどでお世話になります。

坂本 佐知恵

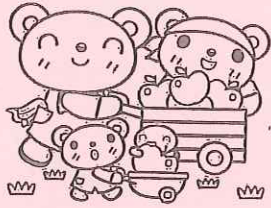
初めての児童養護施設。「全くの初心者が一から何をしていけば良いのだろう。」そう思う毎日でした。子どもと向き合う時も、うまく向き合えず、感情的になり、ぶつかってしまうこともたくさんありました。支援の仕方、後悔してばかりでした。3年目くらいから、段々と子どものペースや、日常のやらなければいけない事のペース配分がわかってきました。仕事が楽しくなってきました。子ども達からも色々と学び、その事を活かして支援していく余裕もでき始めました。しかし、「もう嫌だ。」と思うこともたくさんありました。そんな時、子ども達から、励まされ、可愛い事してくれる、そうすると、「あーもうちょっと頑張ろう。」と思えます。10年経ち、退所した子どもが遊びに来た時、成長した子の姿を見ると、嬉しさと共に「この子たちに何をしてあげられたのだろう。」そして「入所中の子どもには何をしてあげられるのだろう。」と思います。まだまだ未熟な私ですが子どもと成長し、共に歩んでいける職員でありたいです。

清水 宏美

創立10周年を迎えたふれんどに
退所した子どもたちからのメッセージ!

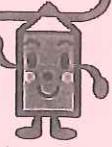
ふれんどにいた一日一日が
楽しかったです。わたし

はふれんどとおなじで
しです。10周年おめでと
うございます。
4年10才 Y.Y



30年後のりーんがびん
トイロ

9月4日にふれんど10周年記念式典を開催
しました。歴代の施設長や退所児童もたくさん
かけて、楽しい式典になりました!



29才 M.Y



じいさんとひろみ姉ととも兄と会って
嬉しかったです。ふれんどに来てよかった。

13才 K.I

長い10周年を迎えましたが、こ
う長い年月たちました。

今日は、このよりの10周年記念年
いただきありがとうございます。

また、このよりの会をさえて下さると
うれいです。



18歳 I.A

退所して2年経ちました
が、何にも変わってなかった。

10周年おめでとう♡

H.T 19才



ふれんどで過ごせた事
ほんとうに良かったです♡

今まで迷惑かけて
ごめんね。そしてまた
20周年のときにはピッコロに
なるのび。おめでとう!
20.A.N



おもちゃつきが
たのしかったです。
すが、だれかだれ
かあからなかつ
たけどみんなに
あえてうれしく
たです。8才 M.Y

10周年、おめでとう。

これから、頑張ってください。
20歳 T.A



祝！ふれんど10周年！！

一番の思い出なあ～に！！

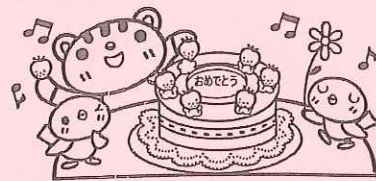


ふれんど、おめでとう！！
みんながあつまるクリスマス
コスプレ会がたのしかった
です



小ニ Y. I.

ぼくのたんじょうひの
ときにケーキをみせたら喜んで
ました。お母さんのケーキ
がたのしかったです。
おいしいかったです。 E.K



ぼくはふれんどが
できて2ヶ月後に来ました
2さいだ。たのしくて覚えてい
ないけど、イベント出したことはおぼえて
います。

今のぼくのふれんどでの思い出は
ダンスコーラントドレ行ってきた
イベントのことです



小6 N

運動会楽しかった！！

小6 N.N



私は千葉に日帰りで行きました。
 なかなか千葉には行かないので
 良かったです。

また、行きたいと思います。



中2年 G.S

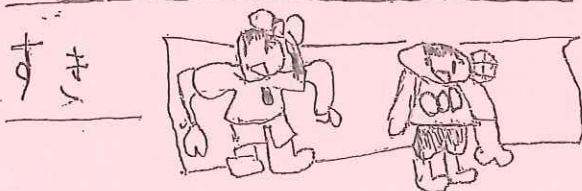
10年間、ネットにずっと
 いてたくさんの人と出会い、
 たくさん思い出がつか
 きました。今までつづけてき
 た思い出は数えきれない
 ほどあり、どれも宝物です。
 みんなでの旅行や、クリスマス
 会などのネットでの行事は
 大好きです。 中3 M.O

運動会のしょうかい
 いっぱいリレーがとて
 たのしかったです。
 A.Kとじっしょにサッカー
 をしたのしかったです。

小5 A.S



いつかすべりた"いと
 すなは"であそぶのが
 すき



5才 S.O

初めて行った遠足で

初めてディズニーランドに

行ったこと。



M.Y

わかばから

わかばとは、ふれんどで行っている生(性)教育委員会の通称です。



元気な昼間保育の子どもたちは、皆仲良しで、楽しく遊んだり、喧嘩をすることも…。ただ、仲が良いために時には子どもたち同士の身体の距離が近すぎて、職員がひやひやする事もあるそうなので、今年の夏休みに昼間保育の子どもたちに、身体と距離のプライベートゾーンの話をしました。ふれんどでは、

①身体のプライベートゾーン【水着で隠れる所と口】は、見ない・見せない・触らない・触らせない。

②距離のプライベートゾーンはお友だちや職員とは、両手を腰に当てて肘がぶつからないくらいの距離を取る。

という約束があり、約束を破る子どもがいたら、「やめて!」と言っていいこと、それでもやめてくれないのであれば職員に言っていいことを伝えました。昼間保育の子どもたちはこの話を聞き、クイズにも答え、中には「それは大人も同じ?」と質問してくれる子もいました。

大切なあなたの身体は、あなた自身で守ってほしいとの事を伝えるため、このような話しをしました。これから大人になっていく子どもたちへの大切なメッセージなのです。

心理 嶋村

昼間保育 だより

「Happy birthday ふれんど〜♪ 10周年おめでとう」



昼間保育も10歳 何人の幼児さんが巣立っていったのだろうか...
そして現在は6名 明るく元気一杯楽しく過ごしています

年中児 { Kくん... フラフーフの特訓中 ふれんど1位 金メダルとるぞ〜!
Hくん... 早い。1番が何でも大好き どんな事でも頑張るよ
Rちゃん... 「むじなもん音頭」に夢中 上手に踊れるよ♡

年少児 { Yちゃん... ハサミ使いが上手になってきて ただ今ミニミニ洋服製作中♡
Hちゃん... 苦手だった雑巾がけ 膝をつかないで出来るようになったよ

Nちゃん... 9月より昼間にお仲間入り 笑顔で過ごせるようになってきたね

くわの凧納涼祭やふれんど10周年記念式典を通し 子ども達は
少しずつ成長しているように思います

これからも見ていて下さい 力を合わせて頑張ります



～地域小規模施設『あすなろ』から～

あすなろがスタートして、5年の月日が過ぎました。

開所からいる児童は1名となり、これまでに6名の児童が巣立って行きました。社会人として自立し、一人暮らしをしているMちゃん。よく遊びに来ています。高校を中退したが、アルバイトをしながら、通信の高校に通っているOちゃん。あすなろに居る時よりすっかり元気になりました。仕事帰りにあすなろに寄り、おしゃべりをしていくAちゃん。困ったときには、何でも相談してきているJちゃん。お家ではまだ本音が出せないと言っています。家庭復帰したが、親とうまくいかずグループホームにいるMちゃん。笑顔を忘れたと言っています。自分自身の課題を抱え込み苦しんでいるYちゃん。不安定な状態でもとても心配です。

それぞれが、あすなろにいた数年を振り返って、あの時は話せなかった事、出来なかった事、もっとやってあげれば良かった事などを話してくれることがあります。あすなろ（職員）の足りないものが見えてきます。今後もアフターケアを続け見守っていきます。

(荻原)



～ファミリーホーム『しらかば』から～

しらかばが地域小規模施設から、より家庭的な環境で子どもたちを養育していくためファミリーホームに移行して4年目を迎えます。

当初は小学生や中学生だった子どもたちも今や小5・中1（2名）高1・高2と段々難しい年ごろになって来ました。時には職員の注意が入らず暴言や暴力で自分の感情を表してくる子もいます。そんな時子ども達の不安や怒り、悲しさを否定せず少しでも理解できる存在であることが、私達職員に求められているのかなと感じる毎日ですが、子どもたちは、職員とぶつかり合いながらも確実に成長をしている気がします。

小学生のR君は、整理整頓が苦手だったけど、少しずつ自分でできる事も増え、今のまま大きくなって行って欲しいと思う優しい子です。中1コンビの、A君とT君は、やりたいことが柔道からサッカーに代わり、部活で汗を流しこの夏はふれんどいちの日焼けボーイになりました。高1のJ君は、相変わらず毎日踊っていますが、くわの実のボランティアを通し人にやってもらえばかりでなく、人のために何が出来るのかを少し感じてくれた様です。高2のK君。自立は人毎の様でしたが、バイトを一生懸命頑張っって少しずつではありますが自分の将来を考えられる様になりました。

こんな個性があるしらかばの男の子たちを職員3人がそれぞれの力を出し合い子どもたちを支援していきながら、地域に根を下ろしていけるようにしたいと思います。

(横室)

日誌

※毎月、職員会議・自立支援検討会議を実施

※随時、職員研修を実施

◆ 8月

- 2日：あすなろ棟外出
- 3日：C棟棟外出
- 4日：G棟棟外出
- 6日：曙プレーキ納涼祭
- 9日～10日：小学生一泊旅行
- 13日：F棟棟外出
- 15日：A棟棟外出
- 17日：しらかば棟外出
- 20日：幼児「おかあさんといっしょ」観覧
- 22日：B棟棟外出
- 23日：E棟棟外出
- 25日：施設対抗ソフトボール大会
- 27日：くわの実納涼祭
- 29日：小中学生始業式
- ※下旬：高校始業式

◆ 9月

- 1日：幼稚園・高校始業式
- 4日：ふれんど10周年記念式典
- 17日：中高生日帰り旅行
- 24日：南中合唱コンクール
手子林小運動会
- 25日：新二小・川俣小運動会

◆ 10月

- 12日～13日：川俣小修学旅行
- 13日～14日：手子林小修学旅行
- 20日：西中合唱コンクール
- 22日：東中合唱コンクール
- ※上旬：中学校三者面談

◆ 11月

- 1日～2日：新二小修学旅行
- 13日：七五三
- 14日：県民の日

◆ 12月

- 22日：小中学生終業式
- 24日：クリスマス会
- ※下旬：幼稚園・高校終業式
もちつき大会



いつも温かいご支援
ありがとうございます
～寄贈品～

セカンドハーベストジャパン・(有)山崎土建・フ
ードバンク北関東・グリーンショップしみず・
ときわ木・(株)クリバ・小林静子・和田百貨・ケ
ンソー・スナガ輪業・漆原弘一児童養護施設さ
んあい・玉鮎・吉田弘司・岡戸富美子・石井敏
夫・木村周作商店・田尾和子・金久保和江・染
田八重子・(株)チュチュアンナ・斉藤悦也・ジャ
パンゲートウェイ・その他匿名(敬称略・順不同)

〈編集後記〉

ふれんどは9月1日で10周年を迎えました。
また、9月4日に歴代の施設長や退所児童を招
待し、お祝いをしました。懐かしい顔ぶれに思
い出話にも花が咲き、楽しい式典になりました。
私たち職員も子どもたちの成長を感じられて嬉
しく思います。

今後も、皆様にふれんどの子どもたちの成長
を伝えていきたいと思ひます。よろしくお願ひ
します。

担当：引間・中田